

吉祥寺図書館リニューアル計画

小さなオアシス吉祥寺図書館 ～気軽に楽しく知的な出会いを～



平成 28 年 11 月
武蔵野市教育委員会

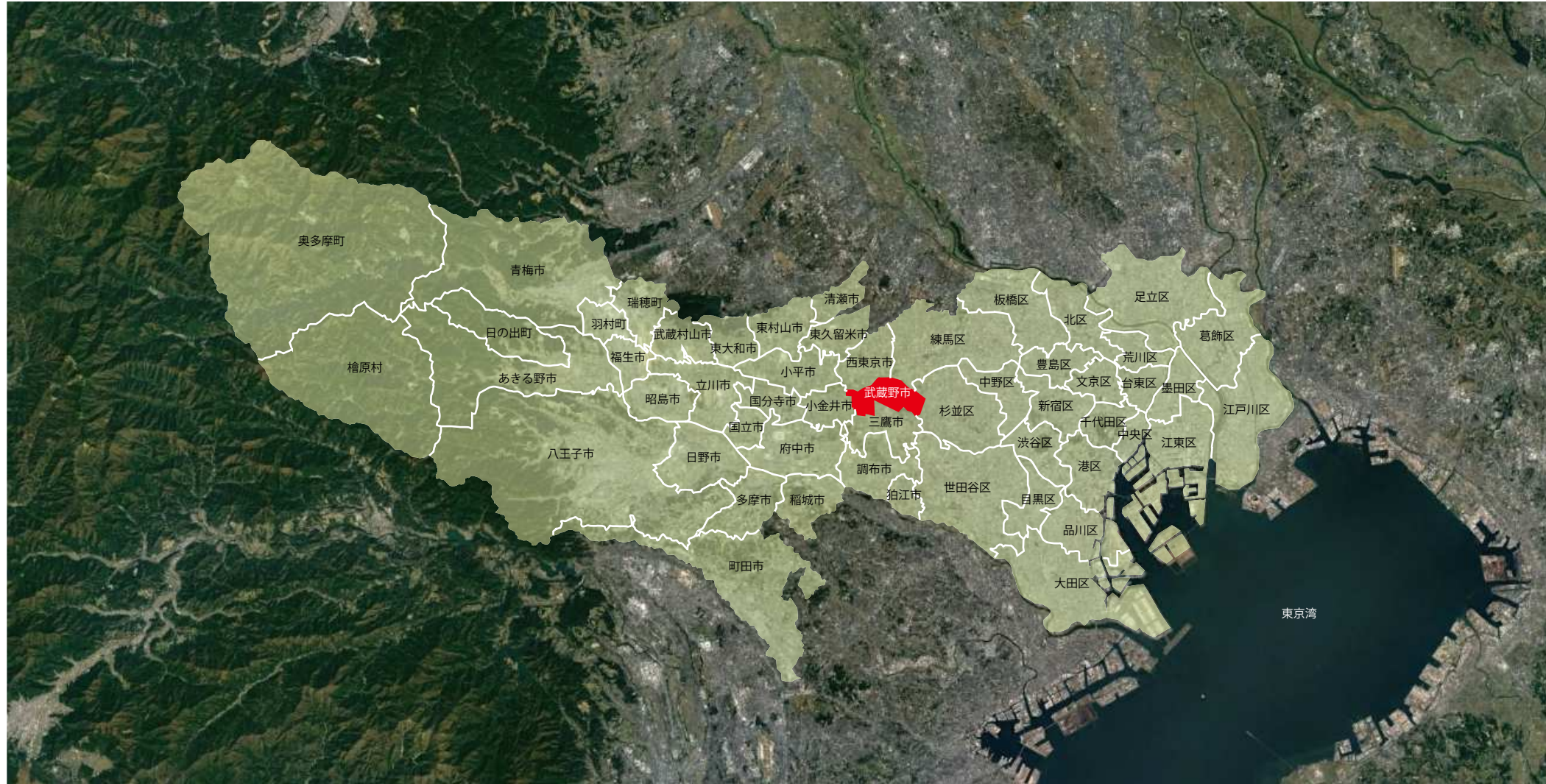
目次

第Ⅰ章	前提条件の整理	・・・ 1
	1. 武蔵野市の概要	
	2. 武蔵野市の図書館について	
	3. 「吉祥寺図書館の在り方」について	
第Ⅱ章	リニューアルの概要	・・・ 6
	1. 既存施設の現況	
	2. リニューアル計画について	
	3. 各階の構成	
	4. 「吉祥寺図書館の在り方について」（平成27年7月）の具体化	
	5. 各階の平面計画	
	6. 設備リニューアル計画	
	7. スケジュール	
第Ⅲ章	リニューアル計画図	・・・ 20
	1. 改修メニュー表	
	2. リニューアル計画図	
付録	検討経過	・・・ 26
	1. 主な検討経過	
	2. パブリックコメントについて	

第 I 章 前提条件の整理

1. 武蔵野市の概要
2. 武蔵野市の図書館について
3. 「吉祥寺図書館の在り方」について

1. 武蔵野市の概要



(1) 武蔵野市の位置・人口

①位置・面積

武蔵野市は東京都のほぼ中央に位置し、都庁（新宿）より約12kmの距離にあります。

東経 : 139度34分10秒
 北緯 : 35度42分10秒
 面積 : 10.98 km²
 東西 6.4km 南北 3.1km

②人口

総人口 : 143,908人（外国人含む） ※平成28年8月1日現在
 世帯数 : 75,298世帯

③市民の花・木

市民の花 : ハギ、ムラサキ、ムラサキハナナ、ジンチョウゲ、スイセン、フヨウ、アサガオ、ツツジ、キク
 市民の木 : コブシ、ケヤキ、ハナミズキ

(2) 3つの圏域

武蔵野市には3つの駅があり、それぞれ特徴ある圏域が形成されています。

①吉祥寺圏

吉祥寺駅周辺には、店舗やデパート等が集まっており、商業の集積地となっています。

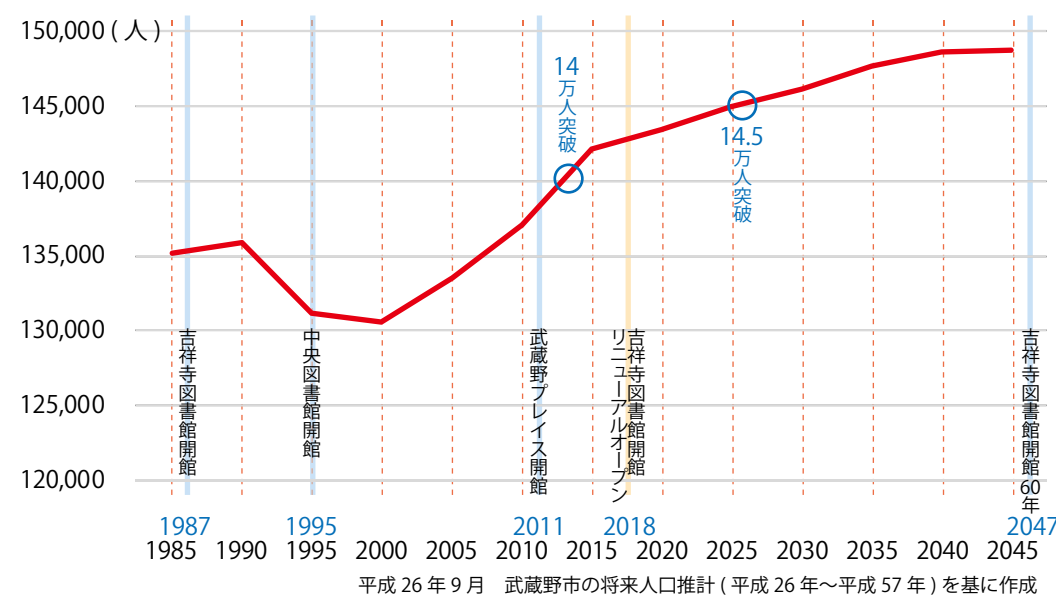
②中央圏

三鷹駅を中心に市役所や市民文化会館等があり、文化と行政の中心となっています。

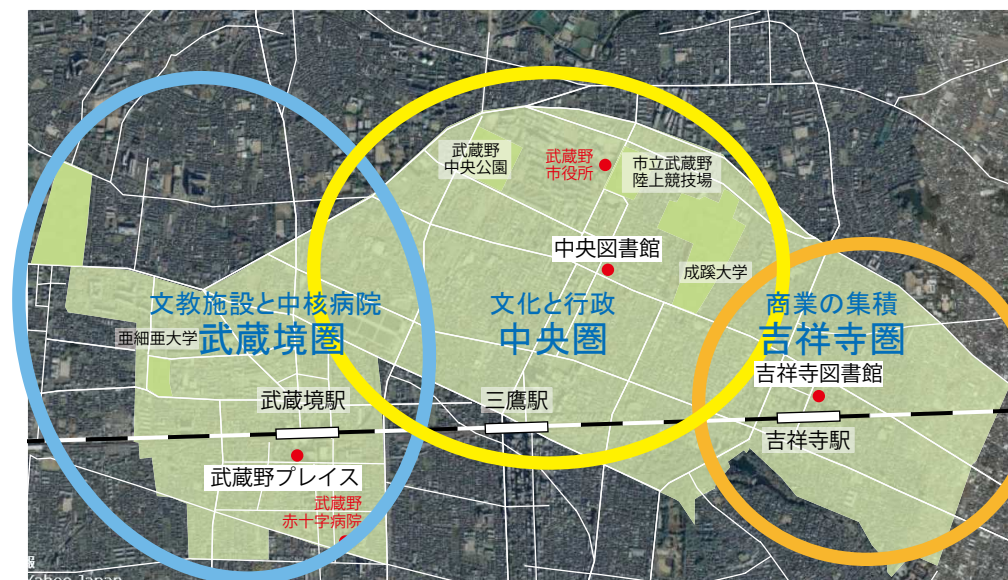
③武蔵境圏

亜細亜大学や武蔵野赤十字病院があり、文教施設と中核病院のある圏域となっています。

武蔵野市の人口の推移と将来想定



武蔵野市の3つの圏域



(3) 将来人口の想定

- 昭和40年以降、武蔵野市の人口は13万人台で増減してきましたが、近年の大規模開発によって、転入者が増加したことから、平成26年（2014年）には14万人を超え、140,527人に達しました。
- 大規模開発は一通り終了しましたが、出生者増の影響で当面は微増し続け、平成38年（2026年）には14.5万人を突破し、平成57年（2045年）には14.8万人程度となると見込んでいます。

2. 武蔵野市の図書館について

(1) 武蔵野市の3つの図書館

武蔵野市では、平成23年に武蔵野プレイスが開館したことにより、かねてから計画していた、吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅の市内の3駅を中心とする3つの圏域それぞれに図書館を設ける「3館構想」が実現しました。



(2) 3つの図書館の特徴

① 中央図書館 (H.7 年開館)

住所 : 武蔵野市吉祥寺北町4-8-3
敷地面積 : 3,005.62 m²
延べ床面積 : 7,529.23 m²
階数 : 地上4階 地下2階

- 中央図書館は市立図書館が一体となって有機的に管理運営される図書館システムの中核とされ、地区館のバックアップと共に、図書館全体の総合的な企画・運営、資料部門、学校連携や障害者サービス等の奉仕部門の管理を担うことが掲げられています。
- 同時に地区図書館としての役割も掲げられ、利用者のみならず、周辺住民にとって身近な図書館であることを目指しています。

② 吉祥寺図書館 (S.62 年開館)

住所 : 武蔵野市吉祥寺本町1-21-13
敷地面積 : 815.31 m²
延べ床面積 : 1,655.96 m²
階数 : 地上2階 地下1階

- 吉祥寺駅前という恵まれたロケーションにある吉祥寺図書館は、他の2館に比べ、コンパクトな図書館です。築30年と一番古い図書館でもあります。
- 周辺の方々には愛着を持たれ、高齢者からビジネスパーソン、学生や子ども連れなど、多様な層の利用者がいます。吉祥寺駅近接という立地を活かし、また、他館に劣らないような特色を持つことが課題です。

③ 武蔵野プレイス (H.23 年開館)

住所 : 武蔵野市境南町2-3-18
敷地面積 : 2,166.20 m²
延べ床面積 : 9,809.76 m²
階数 : 地上4階 地下3階

- 武蔵野プレイスは、本や活動を通して、人々が出会い、それぞれが持つ情報を共有・交換しながら、知的な創造や交流が生み出されることで、地域社会(まち)が活性化するような公共施設を目指し、平成23年に開館しました。図書館機能のほかに、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の機能も併せ持っています。
- 武蔵野プレイスは、中央図書館に次ぐ蔵書量ですが、貸出数は一番多く、利用頻度がとても高いことが分かります。

武蔵野市立図書館の蔵書数

	中央図書館	吉祥寺図書館	武蔵野プレイス	全館
一般書	491,655 冊	63,661 冊	124,844 冊	680,160 冊
YA	26,030 冊	4,244 冊	7,346 冊	37,620 冊
児童書	95,620 冊	26,446 冊	41,124 冊	163,190 冊
合計	613,305 冊	94,351 冊	173,314 冊	880,970 冊

平成27年度 武蔵野市の図書館より

武蔵野市立図書館の貸出数

	中央図書館	吉祥寺図書館	武蔵野プレイス	全館
一般書	468,771 冊	285,839 冊	609,117 冊	1,363,727 冊
YA	62,109 冊	21,160 冊	58,128 冊	141,397 冊
児童書	278,781 冊	109,699 冊	309,529 冊	698,009 冊
合計	809,661 冊	416,698 冊	976,774 冊	2,203,133 冊

平成27年度 武蔵野市の図書館より

3. 「吉祥寺図書館の在り方」について

(1) 吉祥寺図書館の在り方検討

吉祥寺図書館のリニューアル計画策定に先立ち、今後の吉祥寺図書館の方向性・在るべき姿を検討し、平成27年7月に「吉祥寺図書館の在り方」としてまとめました。リニューアル計画では、ここで示された方針・考え方にさらに検討を加え、具体的な計画方針を策定します。

(2) 利用者層別のアプローチ

①ビジネスパーソン：利便性の向上

この利用者層は、ネット等で本を予約し、勤め帰りに図書館で本を受け取る人が多いので、予約取り置きコーナーの整備、自動貸出機の増設、土日の開館時間の延長が、サービスの向上及び利用促進につながると考えます。

②来街者：ハイパーローカル情報の提供

吉祥寺の多くの来街者に立ち寄って楽しんでもらうことを目的として、他では目にすることのないハイパーローカル（※吉祥寺に特化した、地元密着）情報を提供するとともに、ツイッターやフェイスブック等のSNSを利用して発信します。

1)本を通じた吉祥寺のまちの人情情報の提供

商店主などの地域の有名人を対象に、泣いた恋愛小説、人生を変えた一冊といったテーマで、人物写真やお店の紹介を交えて本を展示します。

2)吉祥寺の書店・古本屋情報の提供

書店・古本屋の特徴が記載されたマップや旬の情報を提供します。

3)吉祥寺アーカイブの設置

吉祥寺が特集された雑誌のバックナンバー等の吉祥寺の変遷が分かる資料を展示します。

③ビジネス支援：街の情報の提供と発信

- ・ビジネス支援に関しては、市や近隣の商工会議所と連携することが効率的・効果的です。具体的には創業や経営支援など市や商工会議所が提供するサービスの資料をパンフレットスタンドで紹介したうえ、司書が専門機関へ仲介するレフェラルサービス（※専門機関等を紹介するサービス）を展開します。
- ・吉祥寺の事業者には小売り業者・飲食サービス業者が多いため、②ハイパーローカル情報の提供中の「1)本を通じた吉祥寺のまちの人情情報の提供」、「2)吉祥寺の書店・古本屋情報の提供」が、地元事業者の支援にもつながるものと考えます。

④子どもと保護者：気軽さの向上

図書館は静かな場所であるため、子どもやその保護者にとっては周囲に気を使わなければならない場所であり、来館しづらい場所という側面があります。子どもやその保護者に、より図書館や本を好きになってもらい、より多く来館してもらうため、気軽な空間を演出します。

1)専用フロアの設置

吉祥寺図書館の施設特性を活かし、2階を図書分類にとらわれない「別置（※家庭向け実用書を中心とした本などを集めて置く）」にすることにより、子どもや家庭層に特化した専用フロアとし、周囲に気を使わず家族層が利用し易い、安全面にも配慮した環境を整備します。

2)「赤ちゃんオアシス」の実施

週1回程度、子どもやその保護者に来館してほしい日を「赤ちゃんオアシス」として設定・告知し、他利用者層に子どもや保護者に対する特段の配慮を呼びかけます。

⑤高齢者：緩やかにつながる場の提供

図書館の利用が多い層であり、地域での奉仕活動に熱心な層でもあるため、ボランティアによる図書館コンシェルジュを展開します。また、気軽に参加できる読書会を行い、利用者同士が緩やかにつながる場を提供します。

⑥青少年：自己表現の場の提供

この利用者層は、勉強や部活動などに忙しく、来館動機が乏しい層です。そのため、図書館との親和性が高い青少年の自己表現を起点に、青少年の来館への動機付けを強化していきます。

1)吉祥寺図書館への運営参加

本や図書館好きの青少年で構成される「吉祥寺図書館図書部」を創設し、オススメ本の展示やPOP作りなどで運営に携わってもらいます。一日司書体験や、地域の中学校・高等学校の図書委員会との連携を図ります。

2)青少年の作品展示

地域の中学校や高等学校の部活動、近隣大学のサークルや研究室で、文学、漫画、写真、美術等図書館が所蔵する資料の種類と関連が強い団体の作品展示の場を提供します。

(3) 吉祥寺図書館の今後の施設改修

これまで述べてきたアプローチは、現在の施設のままでは実現が難しく、一定の改修が必要になります。なかでも次に述べる「①予約取り置きコーナーの設置と自動貸出機の増設」により、人的サービスの負荷を軽減し、新たなアプローチに向けたマンパワーを生み出す投資とします。

①予約取り置きコーナーの設置と自動貸出機の増設

1階のアクセスの良い場所に、ＩＣタグを読み取る「予約棚」を備えた予約取り置きコーナーを設置し、利用者が自分で予約資料を借り出すことができるようにするとともに、現在1台設置されている自動貸出機を増設し、利便性の向上を図ります。

②展示スペースの充実

通りがかった来街者からも見える1階の視認性の高いスペースを中心に展示機能を充実させ、立ち寄ってみたいくなる図書館を演出します。また、書架の間にも様々な小展示ができるよう工夫し、図書館所蔵資料の魅力を広く伝えていきます。

③各フロアの特徴化

地下1階は総合蔵書、1階は展示と予約棚、2階は家族層といった特徴を際立たせる蔵書や空間にすることで、利便性の向上や図書館としての特徴が伝わりやすいものにします。

(4) 望ましい管理・運営形態

本計画にて掲げるアプローチを実施し、ビジョンを実現するためには、図書館を管理・運営する組織が、企画力や調整力、行動力といったマネジメント能力を有する人材を確保することができ、本検討で掲げられた将来像を実現できる組織力を有することが条件です。そのため、従来の行政の枠にとどまらない効果的・効率的な管理・運営が期待でき、吉祥寺のまちづくりに貢献できる管理・運営形態として、武蔵野プレイスの指定管理者としての実績と市民からの信頼を得ている公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団による指定管理が相応しいものであると考え、次にその理由を述べます。

- ① 武蔵野生涯学習振興事業団は、本市生涯学習事業の指定管理や事業の受託を通じて、また、財政援助出資団体としての市の関与を通じて、市・教育委員会と生涯学習への理念が共有されており、本検討で目指す図書館行政を通じた継続的なまちづくりを市と連携して行う事が期待できます。
- ② 武蔵野プレイスでは、図書館機能を軸に市民活動、青少年活動、生涯学習活動といった異なる機能を連携・融合させるなど、本検討の目指すものと類似の活動を行っているため、事業運営のノウハウやネットワークを生かすことができます。
- ③ 武蔵野プレイスの指定管理と一体化することにより、団体のスキルの蓄積・継承がより有効に、継続的に行われることになり、事業の安定的な実施、事業水準の維持及び向上が期待できます。
- ④ 武蔵野生涯学習振興事業団では司書等の確保並びに、各種研修機会の拡充により職員の資質と能力の向上に努めています。また、嘱託職員から固有職員への登用制度を整備するなど、人材の育成・定着を図っています。

以上のメリットや費用対効果などを総合的に勘案して、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団による指定管理が最善の選択であると考えます。

(5) 中央図書館を中核とする市立図書館の在りかた

- 中央図書館改築に向けて報告された「武蔵野市立中央図書館基本構想 最終報告(平成2年)」では、中央図書館は市立図書館が一体となって有機的に管理運営される図書館システムの中核とされ、地区館のバックアップと共に、図書館全体の総合的な企画・運営、資料部門、学校連携や障害者サービス等の奉仕部門の管理を担う事が掲げられています。同時に地区図書館としての役割も掲げられ、利用者のみならず、周辺住民にとって身近な図書館であることを目指しています。
- 本報告で掲げられた吉祥寺図書館の将来像の実現は、上記の考えを継承し、発展させていくための重要な施策です。市内各館が地域や施設の特性に応じた特徴ある図書館を目指すと共に、その特徴を市立図書館の一体的運営に活かし、また、図書館全体の総合的な企画・運営等を各館の特徴へと吸収させていく、双方向的かつ有機的な図書館ネットワークの実現が望まれます。
- 以上を踏まえると、中央図書館は、武蔵野プレイスの開館、本検討で実現される吉祥寺図書館の活性化による大量の蔵書の流通とそれに付帯したサービスを担う施設機能上の中核、ＩＣＴ技術を活用した図書館情報システム機能上の中核、時代のニーズに合わせた総合的な企画・運営を担う図書館施策上の中核として機能していく必要があります。